

施工段階		着工時		1	設備工事： 電力、電話、上下水道、ガス引込計画	シート番号 1-3
電気	空調	衛生	その他			
○	-	○	-			

ポイント

■設計図及び現地の確認

- 電力、電話、上下水道、ガスなどの引込については、設計図に記載のルートと現場の状況を確認する必要があります。
- 特に埋設配管の位置、深さについては、所轄の電力会社、上下水道局、ガス会社等に事前に問い合わせ、台帳等を確認します。
- 下水道本管が合流式か分流式かを確認する必要があります。
合流式：汚水、雑排水、雨水をすべて合流して排水します
分流式：汚水、雑排水のみ合流とし雨水を別系統で排水します

■検討事項について

- 引込計画については仮設から本設への切替え時期を把握したうえで、引込工程を決定します。
- 外部足場の足元になる各種配管、柵、ハンドホールなどの位置関係と施工時期は十分に検討しておく必要があります。

■諸官庁手続きについて

- 引込時期、申請時期の手続きに不足がないか確認します。

先輩アドバイス

- 設計図に記載の内容と現地の埋設配管等の状況は異なることが多いので、設計図を鵜のみにせず現地を確認することが大切になります。道路内埋設のインフラ状況により、予定の位置で引込みができない場合もあります。状況によっては試掘を行い、確認しましょう。
- 埋設した配管の上に重機等が往来した場合、埋設配管が破損することがあります。事前に総合仮設計画を確認し、配管ルートや施工時期を調整しておきましょう。

チェック項目

- 施工前に必要な届出を、所轄の電力会社、上下水道局、ガス会社等に提出しましたか。
- 排水最終柵と公設柵との管底レベル差、接続配管の勾配を確認しましたか。
- 水道本管の水圧変動を確認しましたか。
- 配管の各耐荷重を確認しましたか。

失敗すると…

- 敷地内の排水配管が長くなり埋設深度が深くなると下水道本管に接続できない恐れがあります。
- 道路の埋設配管位置の確認を怠った場合、掘削中に埋設配管等を損傷させ、周辺地域のインフラを遮断してしまうことがあります。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化	
		-	-	○	-	-	-	-	○	○
備考	参 考 文 献 :						制 定	2019年3月1日		
	参 考 メ ー カ ー :						改 訂			